となり、教員の負担等の軽減を図っている。 学校づくりを行い、地域の人材が様々な場面で指導者 将来の学校の在り方について検討されたのがきっかけと しを進めるため、協議会等(区長会、地域審議会)で 小規模となっても地域の子ども達の教育効果等の見直 両学園ともふるさと教育等、 地域に根ざした

り入れているのが実情であった。 学校での教科担任制をとり、中学校教員が小学校に乗 少なく(前期・後期課程での配置で対応している)小 小・中学校両方の免許を併有している教員は

た。 両学園の取り組み、地域力など、参考になる点が多かっ 現在、本町でも小中一貫校への移行が検討されており、



福部未来学園

7 月 31 日 水

島根県健康福祉部高齢者福祉課

「サービス付き高齢者住宅及びそれに類似する施設に 「介護保険制度の概要」、「県内の地域包括支援セ 「高齢者等向け施設の制度及び概要」、

研修となった。

係る優良事例等の紹介」など、高齢者福祉課上席調整 官 担当者より説明を受けた。

(社)ことぶき福祉会(出雲市古志町

り説明を受けた。 ぶきの里」の運営状況等について、 理事長、 法人が取り組んでいる「小地域相互ケアホームこと 担当者よ

型グループホーム」、「地域密着型デイサービス」等の 介護保険事業を行っている。 この法人は、今回視察した施設以外に「認知症対応

理解のもとに生活しているものであった。 者まで幅広く、法人の理念に賛同する住民同士が相互 9戸整備し、 は、交流棟(管理棟)と3LDK~1LDKの住居を 今回、視察した「小地域相互ケアホームことぶきの里 20代の家族(妻子)から90代の独居高齢

ティとなっている。 接しており、様々なケースに対応できるようなコミュニ る。その他では「認知症対応型グループホーム」が隣 急時には職員や住民同士で駆けつける体制になってい また、緊急通報装置が住居毎に整備されており、緊

でも、 る。このように、様々な面において見習う点の多い視察 どは充てられていない事業であったが、離島にある本町 用した給付費などで賄われている状況であった。 法人が独自で取り組んでいる事業のため、 家賃収入と入居者が当該法人の介護保険サービスを利 体的なコミュニティの整備の検討が必要であると考え 今回、 現在、「ことぶきの里」は社会福祉制度の適用外で、 医療・福祉の連携、 視察した施設は、 建設費や運営費に補助金な 人材の育成、 効率面など、 運営費等は



ことぶきの里

小地域相互ケアホームとは

- 1.住居すべて戸建てで、年齢問わず皆が助け合って暮 らす場です。
- 2.介護や支援を必要とする人が個人でも家族とでも、 また一人暮らし二人暮らしの高齢者子育て中の家族、 若者など多様な形で利用できます。
- 3 ・常駐する職員のいる交流棟があり、 ど自由に利用できます。 食事会や会合な
- ・緊急通報装置を各戸に配置し、 同士で対応します。 交流棟の職員や住民

4.

必要な方は希望に沿った福祉や医療、 できます。 保険の利用が

5

一誰もが安心して暮らせる地域社会の実現を目指して います。

6

西ノ島町議会 広報調査特別委員会

地域おこし協力隊員紹介

令和元年10月より西ノ島町にて活動している地域おこし協力隊員を紹介します。何卒よろしくお願いします。



産業振興課所 属

出 身 兵庫県

趣 味 旅行、音楽鑑賞

自己PR

今年の春と夏に旅行で西ノ島を訪れ、海、自然、人のあたたかさに惹かれ移住してきました。 大好きな海に囲まれ、夜にはきれいな星が見え、楽しく暮らせそうです。よろしくお願いし ます。



企画財政課所 属

やまなか じゅんこ 氏 名 山中 淳子

有 四甲 海

出 身 秋田県

趣 味 ひとり旅(島が好きです)、読書(図書館が好きです)

自己PR

仙台市より転居しました。自然の中で暮らすことが夢の1つでしたので、西ノ島での暮らしや地域活動を楽しみたいと思っています。

ピンク色の自転車に乗っていることが多いので見かけたら声をかけてください。

鎮霧支援員紹介

令和元年 10 月より西ノ島町にて活動している集落支援員を紹介します。何卒よろしくお願いします。



観 光 定 住 課 所 属

こまつ ゅうき 氏 名 小松 祐樹

出 身 松江市

趣 味 野球観戦、旅行(温泉)

自己PR

松江市から西ノ島へまいりました。豊かな海と自然に囲まれた西ノ島町での暮らしと町民の皆様との新しい出会いを楽しみにしております。

町民の皆様の生活のお手伝いができるよう、集落支援員としての業務に取り組んでまいりますのでよろしくお願いいたします。

宝くじ助成事業で地域コミュニティ備品を整備しました!

この事業は、宝くじの社会貢献広報事業として、宝くじの受託事業収入を財源として実施している コミュニティ助成事業で、一般財団法人自治総合センターが助成するものです。

大山区では、宝くじ助成事業の採択により、 円滑なコミュニティ活動を行うことを目的とし、 エアコン2基、ノートパソコン、掃除機、コピー 機、パソコンデスク、パソコンチェア、キャビ ネット3台、ハンドメガホン、スーパーワイヤ レスメガホン、座椅子16脚を購入し、地域コミュ ニティ活動備品を整備しました。





